

シンプルに考える。好業績の出遅れ銘柄は？



日経平均は 15 連騰へ

このレポートを書いている時点（10月23日前引け）で日経平均は200円高の2万1658円と、史上初の15連騰を達成する可能性が非常に高そうだ。元々日本企業の業績は非常に好調で、今期は史上最高益を更新する見込みとなっている。また、足元のドル円は114円近辺と日本企業の想定レートに比べると円安水準にあり、業績の上方修正期待も高まっている。このようにファンダメンタルズ面で上昇の条件が整っていたところに、安倍総理が解散総選挙に踏み切り、与党の勝利が予想されて今後もアベノミクスの継続可能性が高まった。それが足元の株高の背景と言えよう。今後の株価のシナリオについてはチーフ・ストラテジストの広木隆が[レポート](#)で記しているののでぜひご参照頂きたい。

本日の銘柄フォーカスでは、「業績と株価は中長期的にリンクする」という原則に立ち返り、非常にシンプルに「好業績の出遅れ銘柄」を紹介したい。具体的には以下の条件でスクリーニングを行った。

好業績の出遅れ銘柄のスクリーニング条件

- 東証1部上場
- 2016年末と10月20日の終値を比較した株価のリターンがTOPIXを下回っている
- 過去3期の売上高がいずれも前期比で増収、営業利益が前期比で増益
- 今期の予想売上高も前期比で増収、予想営業利益も前期比で増益見込み
- 予想PERが東証1部の平均（16.54倍）を下回っている

以上の条件でスクリーニングしたところ、表1に示した18銘柄がピックアップされた。ワイエイシイホールディングス(6298)、エービーシー・マート(2670)、ユニゾホールディングス(3258)、フジ・コーポレーション(7605)、ソースネクスト(4344)、共立メンテナンス(9616)、アイチコーポレーション(6345)、新日本建設(1879)、プレサンスコーポレーション(3254)、システムリサーチ(3771)、オリックス(8591)、ハローズ(2742)、学究社(9769)、スターゼン(8043)、オオバ(9765)、ステップ(9795)、エレコム(6750)、日本BS放送(9414)の18銘柄である。

表1：好業績の出遅れ銘柄

銘柄コード	銘柄名	2016年末 終値 (円)	10/20 終値 (円)	昨年末比 騰落率	売買単位 (株)	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想1株当たり 配当 (円)	予想配当 利回り (%)
6298	ワイエイシイホールディングス	1,273	1,094	-14.1%	100	9.8	0.7	20	1.8
2670	エービーシー・マート	6,620	5,710	-13.7%	100	16.4	2.0	120	2.1
3258	ユニソホールディングス	3,085	2,738	-11.2%	100	10.8	1.0	80	2.9
7605	フジ・コーポレーション	2,197	2,100	-4.4%	100	14.9	1.8	30	1.4
4344	ソースネクスト	581	565	-2.8%	100	14.6	3.3	5.79	1.0
9616	共立メンテナンス	3,405	3,330	-2.2%	100	16.2	2.0	36	1.1
6345	アイチコーポレーション	819	807	-1.5%	100	11.2	1.1	18	2.2
1879	新日本建設	942	932	-1.1%	100	6.4	1.1	17	1.8
3254	フレサンスコーポレーション	1,451	1,448	-0.2%	100	7.0	1.4	25	1.7
3771	システムリサーチ	2,185	2,258	3.3%	100	12.5	2.4	40	1.8
8591	オリックス	1,824	1,915	5.0%	100	8.2	1.0	54	2.8
2742	ハローズ	2,400	2,552	6.3%	100	16.3	1.9	24	0.9
9769	学究社	1,443	1,586	9.9%	100	15.7	6.8	60	3.8
8043	スターゼン	4,830	5,310	9.9%	100	10.6	1.1	100	1.9
9765	オオバ	459	512	11.5%	100	12.8	1.5	12	2.3
9795	ステップ	1,348	1,526	13.2%	100	14.4	1.5	31	2.0
6750	エレコム	1,961	2,231	13.8%	100	14.7	3.0	45	2.0
9414	日本 B S 放送	1,076	1,226	13.9%	100	14.2	1.4	19	1.5

(出所) 10月20日時点のQUICKデータよりマネックス証券作成

特に注目の5銘柄の特徴や業績は

以上の18銘柄の中から、筆者が特に注目している銘柄の特徴や業績をお伝えしたい。

エービーシー・マート (2670)

靴小売の最大手。スニーカーブームが一段落したことや値上げが大きすぎて客数の伸び悩みが目立っていた印象だが、6-8月は既存店売上高が回復し9月も前年比2.9%の増収だった。シェアナンバーワンの強みがある銘柄にしては株価は売られすぎの可能性があるとみる。

2670 ABCマート	売上高	営業利益	経常利益	純利益
2013/02	159,418	30,375	30,747	17,297
2014/02	188,045	34,126	34,814	19,989
2015/02	213,584	39,651	40,405	24,373
2016/02	238,154	41,514	42,196	26,130
2017/02	238,952	41,860	42,860	28,365
2018/02 (会社予想)	252,200	42,500	43,500	28,730

(出所) QUICKデータよりマネックス証券作成 単位：百万円

ユニゾホールディングス (3258)

東京を中心にオフィスビルを展開。また、ビジネスホテルも積極的に開業している。4-6月期の業績も非常に好調だったが、過去の増資による需給悪化が株価で遅れの大きな原因になっているとみる。インバウンド拡大の恩恵も受けやすい銘柄で、中長期的な株価上昇を期待。

3258 ユニゾHD	売上高	営業利益	経常利益	純利益
2013/03	14,876	4,955	3,567	2,098
2014/03	21,930	6,905	5,727	3,078
2015/03	27,668	8,813	7,341	4,214
2016/03	32,385	10,605	8,500	6,593
2017/03	38,906	13,128	9,823	6,249
2018/03 (会社予想)	51,600	16,600	11,000	7,200

(出所) QUICKデータよりマネックス証券作成 単位：百万円

共立メンテナンス (9616)

寮とホテルの運営が主力。ビジネスホテルやリゾートホテルの開業を精力的に続けている。8月の月次売上はホテル事業が前年同月比15%増と順調に拡大中。今後も中長期的にインバウンド拡大の恩恵を受けるとみられ業績拡大を有望視している。

9616 共立メンテ	売上高	営業利益	経常利益	純利益
2013/03	99,472	6,521	5,599	3,206
2014/03	105,216	7,490	6,796	3,829
2015/03	110,212	8,217	7,663	4,387
2016/03	135,053	10,244	9,775	5,970
2017/03	135,828	11,815	11,514	7,135
2018/03 (会社予想)	148,200	12,200	11,700	8,000

(出所) QUICKデータよりマネックス証券作成 単位：百万円

プレサンスコーポレーション (3254)

関西を中心に投資用や住宅向けのマンションを販売。販売力が非常に高く、高利益率で順調に業績拡大を続けている。リスクの高い業態ではあるが、株価に割高感なく投資妙味ありか。

3254 プレサンス	売上高	営業利益	経常利益	純利益
2013/03	42,349	9,393	9,329	5,351
2014/03	51,755	10,334	10,264	6,286
2015/03	65,641	12,262	12,065	7,758
2016/03	78,990	14,057	13,798	9,194
2017/03	101,083	15,645	15,414	10,526
2018/03 (会社予想)	126,562	18,301	17,818	12,176

(出所) QUICKデータよりマネックス証券作成 単位：百万円

オリックス (8591)

法人向けの金融サービス、不動産、投資、自動車関連事業など様々な事業を多角的に展開。リーマン・ショック後も赤字転落せず、景気回復後は成長軌道を続けている。予想 PER8 倍台、配当利回りも 3%弱とバリュエーション面で割高感はない。

8591 オリックス	売上高	営業利益	経常利益	純利益
2013/03	1,055,764	150,853	172,572	111,909
2014/03	1,375,292	203,048	286,339	187,364
2015/03	2,174,283	256,829	344,017	234,948
2016/03	2,369,202	287,741	391,302	260,169
2017/03	2,678,659	329,224	424,965	273,239
2018/03 (日経予想)	3,000,000	360,000	470,000	300,000

(出所) QUICKデータよりマネックス証券作成 単位：百万円

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会